

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 倉本 豊 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	令和元年11月7日(木)～8日(金)
場 所	東京都 衆議院第2議員会館、参議院議員会館 他
目 的	令和元年度上京要望のため

報 告 の 内 容	<p>1. 活動内容</p> <p>1.1 要望活動</p> <p>国の政策として取り組むべき地域の課題を、地元選出の国会議員(金子代議士、松村参議、馬場参議)に要望した。</p> <p>第1 介護保険の公費引上げ 第2 国主導の少子化対策 第3 森林環境譲与税の配分 第4 農業支援事業の採択基準緩和 第5 地域農業を支える生産基盤の整備 第6 空き家対策</p> <p>1.2 国立国会図書館の見学</p> <p>(1) 図書館の説明 (2) 館内見学 (3) 質疑応答</p>

2. 所感（※議会・議員として、どう関わるか）

*昨年度の課題であった「関連する数値データや根拠となる事実を添付する」ことを「要望第1」で実行し、要望内容をより明確に示すことができた。

*前回の要望に続き、国政レベルの地域課題を国会議員の三者と共有できた。次回の要望では、町独自の具体策を提案したい。

少子化対策(第2要望)の具体策を検討する上で、町村間の人口争奪戦(消耗戦)ではなく、若者が地域で豊かに暮らせる魅力ある環境づくりを目指す必要がある。そのためには、若い世代の意向調査が必要。

施策の事例として、八代から上球磨地域へのサイクリングコースや、水上スカイビレッジなど、国が推進する施策と、本町の湯楽里や駅周辺などの地理的優位性を連動した取り組みも考えられる。

今後の一般質問や委員会調査で、少子化対策の具体策を検討していく。

*国立国会図書館ホームページの検索機能は便利。特に「国会関連情報」は議会調査で活用したい。